

# 第26回 川西市展入選目録

特別賞 青木賞

日本画の部  
「傍観」  
松田 桃佳 (伊丹市)



特別賞 平通賞

洋画の部  
「船溜り パート2」  
松本 和子 (川西市)



特別賞 川西市美術協会賞

工芸の部  
「トランペットフィッシュ」  
菅沼 秀行 (川西市)



□部 門 洋画 日本画 書 彫刻・立体造形 工芸 写真 現代美術

□入選作品  
展示期間 平成30年2月6日(火)～2月10日(土)  
午前10時～午後5時 (最終日は午後3時まで)

□会 場 川西市文化会館・中央公民館 1階、4階

主催 川西市

■洋画の部

一席 船溜り パート2

松本 和子



二席 岩窟の記憶

本土 彰

三席 秋の日差し

稲垣 泰造

奨励賞 ベネチア

萬代 伸子

奨励賞 秋、カフェテラス

北村 良江

奨励賞 秋雨のあと

川端 節子

奨励賞 宵あかり

淀井 多美子

奨励賞 おなごはん

車谷 孝男

奨励賞 あづちじょうせき  
安土城跡

梅本 順子

奨励賞 神秘の森(屋久島)

稲継 佳久

奨励賞 さんきらい  
山帰来

坂井 登美子

奨励賞 木の蔭

小川 睦子

入選 ちょうよう  
朝陽昇る頃

中谷 幸雄

入選 浄土への道

岡島 信博

入選 あ うん  
「阿・吽」

山本 良彦

入選 館の午前4時

有田 義博

入選 残雪

西 勝年

入選 翼を休める二人

早川 博唯

入選 信号待ち(デンマーク)

河野 満

入選 農夫

酒井 成之

入選 酒蔵(伊丹)

大槻 貞二郎

入選 変わる世界に変わらぬ世界(淀川) 小室 浩士

入選 春の大ケヤキ 横川 武利

入選 きゅうしゃくふじ  
九尺藤 高井 勝

入選 作業舞台 森本 功

入選 とき  
追憶の刻 芝 司信

入選 北摂の民家 野村 和男

入選 はくば やりがたけ  
初秋 白馬鑓ヶ岳 葛城 英樹

入選 田舎の秋 戸田 勝

入選 溪谷 佐藤 勝彦

入選 花 仲埜 晋平

入選 水門 倉本 晋匡

入選 ドック 浦 政一

入選 郷愁 吉田 高明

入選 みち  
途 藤田 道枝

入選 みわ  
三輪の里 広瀬 敬三

入選 2017. きずきの森 市川 良子

入選 だいせんかぎかけとうげ  
大山鍵掛峠 栄元 長子

入選 雨の円山公園 石田 貢

入選 京の老舗 赤尾 正武

入選 多田神社への道 衛藤 司

入選 忘れないで 遠田 悦子

入選 波止場で 日高 洋一

入選 朝のホーム 安田 賢二

入選 変転 引地 新一

入選 倒れても 上田 順子

入選 るり溪の丸木橋 藤岡 祐

入選 おばまぎょこう  
秋の小浜漁港 山中 秀夫

入選 台所 太田 連

入選 ひるさが  
窓辺の午下り 岩井 早苗

## ■洋画の部つづき

講評 藤本 元美・尾島 守

作品受付の日が48年ぶりの寒波に見舞われ、出品点数が昨年より減少したのが残念でした。しかし、応募作品はしっかりと描かれた力作が多く、充実した気持ちで選考することができました。

一席「船溜りパート2」は、水面、船、柱、建物などの濃淡が適切に表現され、絵を見る人にまるでそこにいるかのような気持ちにさせる秀作です。特にトロンとした水面の表現力に驚かされます。

二席「岩窟の記憶」は、どっしりとしたマチエールの上に点描で、シーラカンスが画面からはみ出す様に描かれ、アンモナイトなどの化石の存在が岩窟の時間の経過を表現した象徴的な作品となっています。

三席「秋の日差し」は、白壁に写る影が風の動きや、時間の経過を感じさせてくれます。また、影の色に景色の色が反映し、美しいリズムを作り出し、柔らかいタッチで描かれた石垣や白壁がしっかりと存在感を持った作品となっています。

## ■日本画の部

一席 傍観 松田 桃佳



二席 中秋 田島 尚子

三席 たそがれ時のひまわり 松本 敏子

奨励賞	おしゃべりなすずめ達	堀家 弘子
奨励賞	あさもや 朝靄に浮ぶ	永井 光春
奨励賞	めぐる	山田 治則
入選	菖蒲	木村 直美
入選	命(みこと)Ⅲ	田中 政三
入選	杉小立	高畑 明夫
入選	和紙ちぎり絵 鯉の瀧昇り	石丸 美恵子
入選	青龍	大道 泰子
入選	多田神社	細見 裕
入選	春一番	柴垣 伝子
入選	伊吹山晩夏	清水 信吉
入選	希望	砂子 久美子
入選	見あげて・ごらん!	阿久根 記美子
入選	感動を覚える滝しぶき	藤井 安雄
入選	猫と花	山本 富美子
入選	うわあー!ステキ	湯川 延子
入選	古城の桜	久保田 忠雄
入選	新緑芽吹く	山崎 一義
入選	小さい秋	西垣 和代

講評 小田 賢・曲子 明良

応募作が昨年より少し増えたことは喜ばしいことです。一席「傍観」は、構成の巧みさや色の冴えなどが良く、文句なしの一席でした。

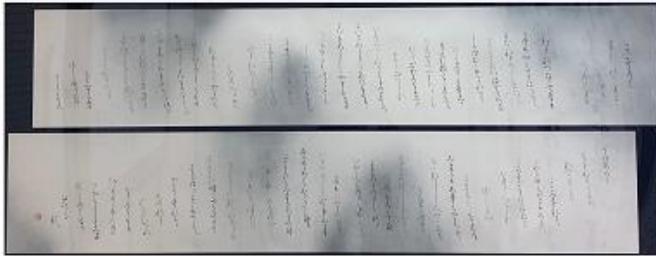
二席「中秋」は、しっかり描かれていますが、少し絵がまとまりすぎており、構成にもう一工夫ほしいところです。

三席「たそがれ時のひまわり」は、表現もダイナミックで新鮮な感じがします。もっと大きな作品でしたら、良さがより生かされたでしょう。

その他の作品は全体的に大人しく日本画材の扱い方も更に研究してほしいと思います。そして写生の大切さを今一度心に留め、今後ますますのレベルアップを期待します。

## ■書の部

一席 さんかじゅう 山家集18首 山根 香翠



二席 かはかぜの 永田 由香

三席 りえんし 李遠詩 伊藤 倅泉

奨励賞 つれづれなる 長田 恵美子

入選 とりなくうた 鳥啼歌 下仲 生恵

入選 ふくだそえんし 福田蘇煙詩 門脇 里奈

入選 とうぶんげんし 鄧文原詩 川口 登美子

入選 鶴亀 深松 華夢

入選 さいちようし 崔激詩 福岡 淳

入選 梅の花 時崎 賀世子

入選 般若心経 渡部 隆史

入選 百人一首(四季のうた) 武藤 葉子

入選 三十六人集 そうじょうへんじょう 僧正遍昭 高田 多恵子

講評 坪之内 柏舟・柳澤 鳳翔

審査は、公平・透明性を重視し臨みました。応募点数は13点、昨年より7点減りました。

古典を根底にして格調高いもの、線質・余白の美しい作、新鮮で心揺さぶるものを選びました。

一席はちらし書きをうまく流し墨の濃淡もはっきりした作です。

二席は作品の中心に頂点を求め起承転結がなされた作です。

三席は行間と空間をうまく調和した作で、三行目の字間、文字の大小を工夫しています。

## ■彫刻・立体造形の部

一席 さわやかな朝 細川 忠夫



二席 生存競争 神山 美登里

三席 北の語り部 森上 恵子

奨励賞 鬼の反逆 藤江 昌彦

入選 舞い 立川 聰

入選 記憶の欠片 かけら 三輪 裕治

講評:山田 実・堀野 利久

昨年に比べると出品点数が少なく、残念でした。

一席の「さわやかな朝」は、彫刻の基本をふまえた制作方法で、婦人の立ち姿と表情にはモデルの方の穏やかな性格を感じさせる作品となっています。

二席の「生存競争」は、木の蜜を奪い合うカブト虫の生きる為の競争を表現されています。カブト虫や木などもたいへん力強い表現となっており、優れた表現力をうかがえる作品です。

三席の「北の語り部」は、生活していくために懸命に働いてきた老婆をモチーフに、小さいながらも震災後の寒い中の情景が良く表されています。

奨励賞の「鬼の反逆」は、童子伝説からヒントを得て作られた作品で、いろんな素材を使い制作されている作品で、迫力もあり愉快的な要素もあり色彩的にも魅力ある作品となっています。

優れた作品が多くあり、意欲を感じました。

## ■工芸の部

一席 トランペットフィッシュ 菅沼 秀行



二席 立夏 乾 恵

三席 小たんす 荒木 三郎

奨励賞 王様とお姫様 奥村 和之

入選 とうがく やく 陶額 躍 清水 秀雄

入選 青のハーモニー 早川 瑞穂

入選 あかり 上杉 和代

入選 しのぎもんかき 練り込み鎬文花器 井上 雅善

入選 双龍 山口 勝郎

入選 京都建仁寺しんしんと降る雪の朝 上野 利雄

入選 Dahliaダリア 鳥巢 祥子

入選 菊池溪谷の紅葉 もみじ 中村 守

入選 勝負29 松浦 洋

入選 あお 碧 私のお気に入り1と3 西田 眞智子

講評 工藤 良健・渡辺 雅夫・北島 桂子

最近、ますますレベルが上がっているのを感じます。一方作品を展示するという視点で、さらに工夫をしてほしい作品も見受けられました。次年度も素晴らしい作品が集まることを期待しています。

一席「トランペットフィッシュ」のスタンドグラスの作品は、魚の口元がとてもユーモラスで、見ている人が思わず笑みを浮かべてしまいそうな温かい作品になりました。スタンドグラスの技法を使い、作者の思いがうまく表現できていると思います。

二席「立夏」は、お孫さんに対するお祖母ちゃんの愛情あふれる作品に感動しました。陶芸技法を駆使し、細部まで丁寧に作り上げた力作。「立夏くん」にとって一生の宝物になると思います。

三席「小たんす」は、黒柿という銘木の良さを十分表現され、木組みもしっかりとした秀作です。細部も丁寧に作られています。引出しの取手にもう少し使い勝手の工夫がほしいところです。

奨励賞の「王様とお姫様」は、フュージングをしたガラスをモザイクと一緒に埋め込み、楽しい表情の王様と、ちょっとおすましのお姫様がとても愉快的な作品になりました。木枠にもう少し工夫があると良いと思いました。

## ■写真の部

一席 たけとりしんじ 竹取神事の後 谷村 周慈



二席 きずな 岡田 秀雄

三席 水面のキャンパス 宮脇 雪子

奨励賞 店番 中西 宏明

奨励賞 男の花嫁 馬場 和正

(次頁に続く)

## ■写真の部（つづき）

奨励賞	朝日に輝く	増田 昌之	入選	黄昏の冬至日	大西 勲
奨励賞	青春謳歌	吉原 和孝	入選	さあ行こう	薄井 研司
奨励賞	夕霧とエドヒガン	石村 武徳	入選	出番待ちの踊り子達	三宅 美佐子
奨励賞	<sup>れいめい</sup> 黎明	井上 隆雄	入選	銀河ステージ	山田 純一
奨励賞	オシャレ三姉妹	小林 恭子	入選	大地の目覚め	岩渕 廣満
奨励賞	リハーサル	羽根田 幸男	入選	厳かな社	玉置 喜章
奨励賞	<sup>しんしん</sup> 深深	太田 茂範	入選	夕暮れの運河	松本 進
奨励賞	龍雲	丸山 禎子	入選	クライマックス	野村 英勝
奨励賞	一心不乱	竹本 賢一	入選	海女のひととき	石原 勝
奨励賞	パパ 頑張れ～	名桐 昭次	入選	慈愛	永野 晃造
奨励賞	家族	中島 昭子	入選	秋遠足	山本 昌彦
奨励賞	八朔(祇園)舞妓さん	滝 利喜	入選	雪深き峠道	森本 孝義
奨励賞	浜通り	三吉 孜	入選	<sup>ふくもち</sup> 福貰い	小寺 哲夫
奨励賞	<sup>ほたるみち</sup> 螢路	村山 明	入選	異物	菅原 和子
入選	サマータイム	長綱 俊昭	入選	もう限界	合田 將史
入選	運命	神前 眞澄	入選	茜色に染まる	砂田 まゆみ
入選	棚田の <sup>あかり</sup> 灯	西中 毅	入選	ナイス、ジャンプ	安達 賢二
入選	<sup>こうぼう</sup> 光芒を放つ	安達 晴記	入選	戸惑う家族	清水 晴夫
入選	空中散歩	山辺 幸男	入選	興味深々	塩津 節子
入選	ラストスパート	宮地 種光	入選	古都疾走	近藤 孝典
入選	跳ねて踊って	木下 勇	入選	今年もよろしく！！	羽田 範子
入選	崖下の造形	牧 孝三	入選	<sup>きら</sup> 煌らかな世界へ	宇田川 洋二
入選	天空の <sup>しろあと</sup> 城跡	荒井 博	入選	凍て付く	太 健一
入選	耐えて	平塚 実	入選	二人の世界	加藤 昭代
入選	オーロラ	山崎 弘	入選	祈りの朝	成平 博
入選	至難の技	横山 周作	入選	朝霧	芦田 芳郎
入選	<sup>こめひき</sup> 米曳	西村 輝夫	入選	朝凧かがやいて	田中 恒夫
入選	初春	嶋田 平一	入選	祭り髪	池永 勉
入選	小さな宇宙	日下部 一一	入選	幻影	岩崎 勲
入選	夕映えの丘	上月 正美	入選	<sup>きせい</sup> 氣勢	辻森 寿美
入選	ふれあい	高井 徹和	入選	雪あそび	西村 真理子
入選	モンスター	仁平 憲雄	入選	雷鳴	鴛海 一吉
入選	深雪の境内	田中 孝	入選	<sup>はかな</sup> 儂い宝石たち	門脇 里奈
入選	逆光	内川 隆雄	入選	共感一世紀を越えて一	川端 啓二
			入選	地上300m	山田 正人

## ■写真の部（つづき）

入選	サンタ親父	兼岩 敏治
入選	街角アート	光武 仙子
入選	ターミナル	濱口 榮司
入選	SAKURA	徳田 宗義
入選	平成女衆	田中 利明
入選	晩秋の池	桑名 弥栄

講評 川口 和子・大亀 京助

今年も150点を超える作品のご応募をいただきました。多様なジャンルの被写体と秀作の多さに楽しく作品を選ばせて頂きました。しかし残念なのは明らかにピントがボケていたり、意味もなくブレていたり、プリントの仕上がりが悪かったり、審査をする上でスタートラインに立っていないような作品もなかには見受けられました。せっかくのご応募、気持ちのこもった丁寧な仕上がりの作品をお待ちしております。

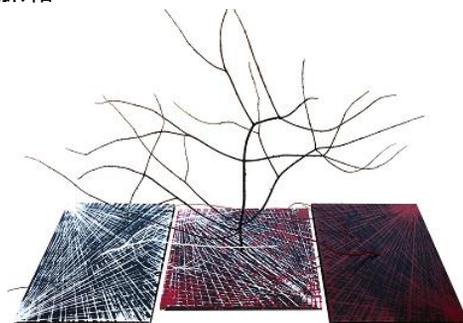
一席「竹取神事の後」お祭り装束をした男性たちの表情と眼力（めぢから）がすごい。そして双方のコミュニケーションがよくとれた作品だと思います。そして円陣の下にもぐつての撮影が迫力を増し、すばらしい仕上がりになりました。撮影者の笑顔でシャッターを切るお顔が想像できました。

二席「きずな」絶妙なタイミングとアングルでメジロの羽ばたきを捉えた作品です。背景をシャドウにもっていった効果が素晴らしい。緑色をしたつがいと、みかんの鮮やかなオレンジ色が引立ちます。そこに水しぶきが加わり臨場感のある素晴らしい作品となりました。

三席「水面のキャンパス」写真の構図は消去法とも言います。被写体をいかに生かすように切り撮るかが作品の良し悪しに大きく関係します。水面に映る風景の彩や波紋をうまくクローズアップし、心象的な絵画のように仕上げられました。2枚作品のコンビネーションも大変よく、素晴らしい組み写真となりました。

## ■現代美術の部

一席 <sup>みゃくらく</sup>脈絡 松村 大地



二席 チゴイネルワイゼン3 畠山 忠美

三席 日常 三輪 裕治

奨励賞 侵蝕(大震災後も夜が明けるNo.75) 片平 修

入選 いろいろ 堀江 敦

入選 痕跡801 西川 輝彦

入選 浮遊 蓑原 侃子

入選 さらばマーズブラック 塚本 秀之

入選 段階別の酔っぱらい 石田 貢

入選 冬眠ドロップス 桑垣 和弘

入選 夢の中 赤木 政則

入選 猫の夢 真柄 あゆみ

講評 高田 雄平・森 倫章

出品者が現代美術をどう捉えるかで多様な表現が可能な分野です。もっと多様な捉え方（テーマ・素材・表現）があっても良いのではと感じました。

一席の「脈絡」は作者の制作へのコンセプト「生命の何か」をさまざまな素材・技法でしっかりと造形化された良い作品となっています。

二席の「チゴイネルワイゼン3」は、支持体や描画材料への意識を感じます。画面も単なる偶然によるものだけでなく流れや広がり、絵画的空間を感じる作品で、安定感のあるものとなっています。

三席の「日常」はさまざまな素材・技法による制作が独特な画面を作っています。画面構成への意識、研究されることで、より充実した作品になることと思います。

奨励賞の「侵蝕(大震災後も夜が明けるNo.75)」は、素材としてのダンボールの扱いは良い表現となっています。一体一体のフォルム、設置構成への研究で、より力のある作品が期待されます。

## ◆ 各部門審査員 ◆

(順不同、敬称略)

## &lt;洋画&gt;

藤本 元美・尾島 守

## &lt;工芸&gt;

工藤 良健・渡辺 雅夫・北島 桂子

## &lt;日本画&gt;

小田 賢・曲子 明良

## &lt;写真&gt;

川口 和子・大亀 京助

## &lt;書&gt;

坪之内 柏舟・柳澤 鳳翔

## &lt;現代美術&gt;

高田 雄平・森 倫章

## &lt;彫刻・立体造形&gt;

山田 実・堀野 利久

## ◆ 特別賞審査員 ◆

二元会会長

山本 幸雄

川西市議会議長

西山 博大

川西市長

大塩 民生

川西市文化協会会長

敷地 勝成

川西市美術協会会長 鳥居 夔

川西市市民生活部長 大屋敷 信彦

## ◆ 特別賞について ◆

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乗（あおき だいじょう）画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男（ひらどおり たけお）画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乗画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乗画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージーゼ レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

また、第25回川西市展時に川西市美術協会賞を新設し、青木賞、平通賞と同じく一席の作品の中から選出しています。

## ◆ 第26回川西市展応募状況等 ◆

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	63	50	12
日 本 画	22	22	6
書	13	13	4
彫刻・立体造形	7	6	4
工 芸	15	14	4
写 真	155	80	19
現代美術	12	12	4
合 計	287	197	53